

○事業所名	れぐるすⅡ		
○保護者評価実施期間	R 8年 1月 5日		～ R 8年 2月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	R 8年 1月 5日		～ R 8年 1月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 8名
○事業者向け自己評価表作成日	R 8年 2月 20日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	月ごとの行事を立て、固定化しない活動プログラムを提供している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域を曜日ごとに固定せず配置し、どの曜日を利用してすべてのプログラムに参加できるようにしている。</li> <li>・外部講師(現在はダンス講師)を招いたり、子どもヨガ体操、習字の専門的な活動を定期的に取り入れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子さま、保護者様のニーズを聞き、幅広い専門的支援へ取り組みを行っていく。</li> </ul>
2	連絡帳やLINE、SNS等を活用し教室でのお子さまの状況を迅速にお伝えしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者様からのご連絡(出欠席等)や個別相談などについても受けつけられる体制を整えている。</li> <li>・SNS機能を活用し写真にてお子さまの様子などをお伝えしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SNSへの投稿頻度を上げたり、毎月のお便り等でもお子さまの様子を具体的にお伝えしていく。</li> </ul>
3	お子さまの導線に沿って、絵カードやスケジュール表を用いて視覚支援で提示し、先の見通しが立ちやすいように環境を整えている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視覚的に分かりやすく提示したり、目の届きやすい高さにして導線をシンプルにすることで、自分で出来たという成功体験を積み重ねることができるようにしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお子さま一人一人に合わせて環境を整えていく。</li> </ul>

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事故対応、災害対策等の緊急時の対応マニュアルは整っており訓練も行っているが、全保護者様や全従業員への周知が不十分なことがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マニュアルや避難訓練の記録がファイリングしてしまうと確認しやすい環境ではない。</li> <li>・職員の勤務日数や出勤時間が異なるため、情報共有が完全にできていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員には連絡ノートや回覧板方式を活用し、保護者様は毎月のおたよりや口頭での説明を行っていく。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者会や地域の児童との交流などがあまり実施出来ていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時等、限定的にしか交流の場を持っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お子さまや保護者様からのニーズを伺いながら、イベントの開催や改善を行っていく。</li> <li>・避難訓練時に地域の方への参加を呼び掛けたりしていく。</li> </ul>
3			